

取付管設置工事における竣工写真作成要領

- 1 取付管設置工事完了後、「工事完成通知書（指定様式）」、「出来形管理表（A4表紙）」及び「工事写真（A4表紙）」を提出すること。
- 2 「出来形管理表」及び「工事写真」の表紙には、次に掲げる項目を記載すること。
 - (1) 工事名（例：令和〇〇年度 取付管設置工事（その□□））
 - (2) 工事場所（例：白岡市××番△△地先）
 - (3) 工事施工者住所、社名及び代表者名
- 3 写真撮影の際は、カメラの日付表示機能は無効にすること。
- 4 写真の撮影は、次に掲げる工種について(1)から(14)の順番で撮影すること。
 - (1) 着工前（施工箇所全景。道路縦断方向から撮影）
 - (2) 安全管理（警備員の配置状況。保安施設や標識類を設置した際は、その設置状況）
 - (3) 舗装切断（舗装道開削時）
 - (4) 舗装版破碎・積込状況（ 〃 ）
 - (5) 掘削状況（掘削幅・掘削深・掘削延長をそれぞれ検測し、その状況を撮影すること。）
 - (6) 水替状況
 - (7) 土留設置状況（掘削深が1.5m以上の場合は、設置が必要。支保工を忘れないこと。）
 - (8) 配管布設状況
 - ア 支管取付状況（公共下水道管穿孔状況→ドレンタイト等塗布状況（ワンタッチ式管を使用する場合は不要）→支管設置完了状況（「番線締め」すること。）
 - イ 曲管、取付管布設状況
 - ウ 配管完成状況（配管総延長・公共下水道本管土被り・取付管本管土被り・宅内配管土被りをそれぞれ検測し、その各状況を撮影すること。）
 - (9) 再生砂埋め戻し工（※管上は、10cm転圧とすること。それ以降は、20cm毎に「砂投入～転圧工～転圧後の検測」の各工程を1枚ずつ撮影すること。）
 - (10) 切込砕石埋め戻し工（「砕石投入～転圧工～転圧後の検測」の各工程を撮影すること。舗装道のみ）
 - (11) 粒調砕石埋め戻し工（「砕石投入～転圧工～転圧後の検測」の各工程を撮影すること。舗装道のみ）
 - (12) 砂利敷均し工（砂利道のみ）
 - (13) 仮舗装工（「常温又は加熱合材敷均し～転圧」状況を撮影すること。舗装道のみ）
 - (14) 完成状況（施工箇所全景。着工前と同じ方向及び位置にて撮影すること。）

※上記の工程の写真が不足する場合は、工事のやり直しもあり得るため注意すること。